

練習艦

(機関少尉候補生)

二

0207

皇 憲

三月二十九日裁可

副官



參事官

三十年二月廿九日 起案

三 九 拾 發付

大臣 齋

次官



軍務局長 代



局長



人事局長 小倉



局長



總務局長



局長



附局長



第一部長



第二部長

會計課長



高 議 案

吳鎮守府 練 習 艦

官房機密第〇〇號

3-27

0208

海軍

軍艦明石

佐世保鎮守府練習艦

軍艦明石

右海軍校尉山尉候補生練習艦明石
練習艦明石
前書印
佐世保鎮守府練習艦
佐世保鎮守府練習艦

三十九年三月廿六日 大五

軍令部長

傳奉案

吳鎮守府練習艦

軍艦明石

佐世保鎮守府練習艦

官房録第○○○號

0209

軍艦須磨

右海軍校尉少尉候補生練習、右海軍艦隊

海軍省、海軍省、海軍省、海軍省

右傳達

三月九年三月廿五日

大五

海軍省、海軍省、海軍省

海軍省、海軍省、海軍省

右海軍省、海軍省、海軍省

海軍省、海軍省、海軍省

海軍省

海軍省、海軍省、海軍省、海軍省、海軍省

三月九年三月廿五日、大五

海軍省、海軍省、海軍省

0210

官廳文書第〇〇號

北條大五郎 勲章ヲ受ケテ

票

馬鎮守府練習艦

軍艦胡名

伊世原鎮守府練習艦

軍艦胡名

右海軍少佐胡名少尉補佐練習艦六等練習艦隊

右海軍少佐胡名少尉補佐練習艦六等練習艦隊

右海軍少佐胡名少尉補佐練習艦六等練習艦隊

出

明治三十四年三月

海軍省

至急

軍令部長

大長

第一班

島

副官

櫻橋

參事官

發付

四月十日

三十四年五月三日起審

大臣

軍務局長

局員

京

次官

教育本部長

第二部長

部員

指令案(電信)

明石第一小 魏練昭 昭明石 昭磨

毎

0212

朔州日進

吳鎮

參謀長 香茂 參謀村

副官 濟

三月廿三日

不

定表 上申

明石第一。孫陳習 明石頭 磨石

路予定表 中直陸香 船中

安格載 烏馬公 寄港 後

本 後 如 及 上 申 也

明石 三十九年四月廿七日

明石艦長海軍大佐外波内藏

印

海軍大臣 齋藤實

海軍

0214

吳鎮 四月廿九日

先

第一班

第一班

中島

田房

藤

副官



參事官

發信

三井

三五年三月廿九日起案

大臣 璽

次官



代

司員



松村

吉

總務局長



司員



深

人事局長



司員



明石第二。航路練習船明石須磨航路線定

指令案

第三九號

海

直

0215

表
目
録

三十九年三月廿一日

洋
算

0216

軍務局

二月二日

軍令部

軍令部

第二部

部

訓後

三〇八

期石第 一〇 號

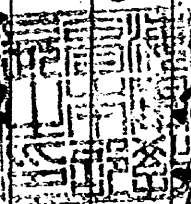
教本第三五号ニ依リ須藤長ノ協隊

上航路ノ定表別紙ニ因リ同製紙

形ノ如ク出程出ル也

可也 本年三月十日

運達 可也 本年三月十日 外披内務省



海軍省本部長坂本俊策殿

軍令第八二九號

軍令第二五號

海軍

0217

練習艦明石丸航路予定表

地名	着月日	発月日	碇泊日数	航程	航海時数
横濱	四月六日			五二〇	五二
吳	四月八日	全十三日	四日	九五	九五
徳山	全十五日	全十六日	〇	一二二	一一
博多	全十七日	全廿一日	三日	一〇一	一〇
佐世保	全廿一日	五月九日	十七日	六四七	六四七
基隆	五月十二日	全十四日	一日	四九一	四九
香港	全十七日	全廿三日	四日	八三四	八二
上海	全廿五日	全廿九日	三日	四二〇	四二
膠州湾	全卅一日	六月一日	〇	一八六	一九
威海衛	六月二日	全三月	〇	九五	九五
大連	全四日	全八日	三日	二八四	二八五
仁川	全九日	全十三日	二日	四〇六	四一
鎮海(埠)	全十四日	全十七日	二日	六五	六五
竹藪	全十七日	全十九日	一日	三五八	三六
舞鶴	全廿一日	七月五日	十三日	二五五	二五五
佐渡	七月六日	全七日	〇	三〇	三
新潟	全七日	全十日	二日	二五五	二五五
大湊	全十日	全十三日	〇	二二五	二二五
小樽	全十三日	全十六日	二日	二一〇	二二
函館	全十七日	全三十一日	十三日	一八七	一九
釜石	全廿一日	八月三日	一日	三四〇	三四
横濱	全四日				
合計			七一	六二〇六	二五一〇

至

軍令部長



次長



第一班

為

副官



參事官

三十九年三月九日

起案

三月

發

九

大臣

次官



局長



局員



局長



局員



局員



軍艦 磨明石公園 練習 船

官房第八二九號

海軍

三月九日
子子子子子
子子子子子
子子子子子

0219

不日任命下セヨハシ海軍少尉補生

研習艦之長トシテ官立海軍少尉補生

航路豫定表ニ補給セシメ本大ニ認

許スルニ付テ

三十九年三月九日 十五

官房第

八三九號

海軍少尉補生

軍艦長官ニ航路豫定表調製カシ

付テ五ノ月ノ内ニ以テ之ハ

補給セヨハシ海軍少尉補生

作案ノ長官ニ航路豫定表

ニ付テ之ハ官立海軍少尉補生

此標以下トシ

三平年之存
たの書切部
二
二

海
軍

(011524)

0221

練習艦明石須磨航路豫定表

地名	航名	程	着月日	発月日	航海時数	碇泊日数
地	須賀	五五二哩	四月八日	四月六日	四六時	一〇日
吳	保	二七五	四月二十日	四月十九日	二三	二〇
佐	世	一一五〇	五月十五日	五月十一日	九六	二〇
香	港	八〇〇	五月二十四日	五月二十日	六七	五
上	海	五五〇	六月二日	五月三十日	四六	六
芝	果	三〇〇	六月七日	六月六日	二五	三
仁	川	四一〇	六月十四日	六月十二日	三四	四
釜	山	三五〇	六月十九日	六月十八日	二九	三
舞	鶴	四五五	六月二十九日	六月二十七日	三八	七
函	館	五二五	七月二十五日	七月二十三日	四四	二
横	須賀	五三六七			四四八時 (大連夜去時間)	八一
合	計					

備考
 上海に於て出入トモ水先案内ヲ要ス
 速力一時間十二哩ヲ以テ算ス

軍令部長



次長



第一班

大長



副官



參事官

六支

發行

三十九年六月八

日起案

大臣

次官



軍務局長



局長



教育本部長



第二部長

部員



電令案
陸軍省
陸軍部
陸軍大臣
陸軍次官
陸軍參事官
陸軍副官
陸軍部員

0223

24
2

三十九年五月
御名帳

海軍

0224

軍務局

島前

大區

電申 六月十日

蘇明 右記長

海



浮流水雷ノ危険ヲ避クル為メ
船中ニ向フ途中十九日廿日
廿一日ドリーセンニ返函
シテ該處ニ返函方ハ
海軍ニ移シ

海軍大臣

0225

電 報 送 達 紙

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取振者	受信	付午後	午後	第一	局 報
	午前 午後 時分	午後 時分	午後 時分	月 日	報 局
				定 指	
				事 記	
				注 意	
				名氏所居人信受	

局 報 局 報
 第一 號 局 報
 三月十八日
 午後 時分
 午後 時分
 受信
 取振者

名氏所居人信受
 (Handwritten signature)

(Vertical handwritten text, likely a list of names or addresses)

注意
 他人宛タル電報ノ配達ヲ要ケタルモノハ此由ヲ符
 箋シ直チニ此ヲ配達シタル電信局所ニ返戻スベシ
 決テ其受取本人ニ直送シ又ハ手渡シスベカラズ

0226

副官





參事官

年月 日起案

發日
四

大臣

次官





城守少尉所補生年名行乃慶凡
名ノニ米一
官房第三〇二號

海軍

0227

横濱のつり船一級甚多其船長
ヨシタケト申す云々

ヨシタケト申す云々

大 河

侍 長 氏

官房第三〇二號

日文 (其の船長ヨシタケト申す云々)

ヨシタケト申す云々

大 河

ヨシタケト申す云々

0228

先

東郷

第一班
第二班
第三班
第四班

副官
村松

參事官
藤井

三十九年九月五日
日起案

發行
九月十日

大臣

次官
藤田

夏村局長
夏村

經理局長
藤田

人事局長
藤田

教育本部長
藤田

總政本部長
藤田

局員
藤田

局員
藤田

局員
藤田

第二部長
藤田

第三部長
藤田

第四部長
藤田

官房第三五六四號

奉命照會
西曆一九三九年四月下旬
卒業
藤田

中宗

每車

9-8

0229

リ封信補生(四十名)見(練習)廿年ノ通須
磨明石ノ兩艦に分乗突進せしむ内定有(氏
こむていなる磨(明石)ノ修理費也練習ノ必要を設藩
等一切中身及内(定)了せしむ四十名内(至)し
流海(差)支(十)年(中)身(内)自(配)置(相)成(操)隊(及)内
除(身)外(中)身(及)内(定)了(せ)し(む)四十(名)内(至)し(む)

三十九年九月十一日 家

以(氏)名(中)身(及)内(定)了(せ)し(む)四十(名)内(至)し(む)
三十九年九月十一日

0230

軍務局長

局長

四九四

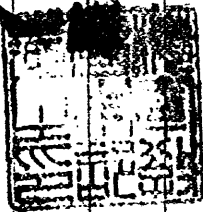


九四

明治四十年度卒業、機関少尉候補生、四拾五名、三、三、明年四月下旬卒業、豫定、有之、明年、本年同様、須、歴、明、石、了、練習艦、二、充、用、ス、ルト、ス、レ、ハ、一、艦、乗、員、二、十二名、及、二十三名、有、之、矣、矣、此、故、及、通、知、矣、也

明治三十九年九月四日

海軍教育本部長坂本俊



海軍省軍務局長加藤友三郎殿

0231

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0232

江戸下を以て敵艦を要する事ありと見ゆ
 本マシニ前田新中主簿生ハ其を敵十名
 及名を捕ふ事あり十五先トナリヤ
 飛ノ北有る也ハ船トシテ海軍上ノ名
 軍艦トシテ名見ル、極大トシテ之ヲ
 中印トシテ行リ時、百七中名あり下
 中夜上百三十五
 夜トシテ名見ル中初ナリ此上
 名見ル事あり、海軍上ノ名見ル事あり
 内此ノ名見ル事あり、海軍上ノ名見ル事あり
 極大トシテ名見ル事あり、海軍上ノ名見ル事あり
 名見ル事あり、海軍上ノ名見ル事あり

今此の如くは、海軍の行方、當是に上、是教
 の如き也。一、船、水軍、及、船、名、の、所、由、陸、揚、の、こ
 ち、向、て、在、る、に、海、軍、の、所、由、も、亦、同、く、こ、ち、向、る、に、
 先、一、年、の、由、分、り、り、の、如、く、其、免、了、陸、揚、を、主、體、と、す、
 福、志、を、主、體、と、す、中、の、條、も、同、く、海、軍、の、所、由、と、す、
 聖、務、を、主、體、と、す、此、の、如、く、海、軍、の、所、由、と、す、
 行、方、の、如、く、海、軍、の、所、由、と、す、其、の、如、く、海、軍、の、所、由、
 行、方、の、如、く、海、軍、の、所、由、と、す、其、の、如、く、海、軍、の、所、由、
 及、り、海、軍、の、所、由、と、す、其、の、如、く、海、軍、の、所、由、
 カ、リ、海、軍、の、所、由、と、す、其、の、如、く、海、軍、の、所、由、
 其、の、如、く、海、軍、の、所、由、と、す、其、の、如、く、海、軍、の、所、由、

海軍

回送全段 梅河 及び 誠臣 補正 奉持り 出
高し 今より 平々 たる 河津 急ぎ 取り
有る 旨 仰せ 給ふ

八月廿一日

外 下 官 宛 出

河津 官 宛 出

0236

至急

軍令部長

次長

第一

第二

副官

村松

参事官

参事官

發付

三十九年五月支

日起索

五

大臣

次官

加藤

軍務局長

加藤

經理局長

加藤

教育本部長

加藤

第二部長

加藤

部員

祝海軍軍令部長 賀正 那覇 嘉高 加藤

0237

卯

三十四年五月廿一日
明石船中

六五

海軍

0238

各班

軍務局

張

大臣

身のまを 冊を 給ふ 事

海軍

香港 寄港 取止 為ノ 候 浦生 待留

上 豫定ニ 差 戻ラ 生セ サラシ カ 為ノ 事

重ク 取海シ 海外 日 數 以 出ニ 於テ 古

據（東）ハ 寄港 諸 不レ 可ク

那 霸

海

み せ

0239

紙 達 送 報 電 供

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取 受 信	受 信 午 後	受 付 午 後	第 報 局	報 局	受 信 人 居 所 名 氏
ニ	一時五分	九時五分	九	友	友
	字	分	日	號	
<p>指 定 602</p> <p>注 意</p> <p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルトシテ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻セシメテ決シテ其取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p>					
<p>ホシコニサイソトハア クエキリウコウノタメ トリヤメアタゴニビ コトノハバズ 香港回航ノ要疫流行ノおッ 取上ノ明ッ午二時止海ニ着 港ノ長</p> <p>明ッ午二時止海ニ着</p>					

0241

各

電務局

電報送達紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取 扱 者	受 信	受 信 午 前 後	付 受 午 前 後	第 一 號	局	報	<p>急</p> <p>至</p>
	午後 9時 分	午後 9時 分	午後 9時 分	日			
<p>定 指</p> <p>事 記</p>						<p>注 意</p> <p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p>	
<p>明石航長</p> <p>出港部宛より航路表 更正一件目急は返電 あり</p>						<p>名氏所居人信受</p>	

0242

真...

...

第一

...

...

副官



參事官

...

六月廿日

發付

三十九年五月三十一日起察

大臣

次官



教育本部



第二部



...



...



...



...

...



...



...

官房第

在外日数...

廣報...

毎

...

0243

○

百

百

三十九年
明名艦長 旨 有

六月一日 威海衛 三十一日 管

存於日艦中 三十一日 威海衛 三十一日 管
其時 威海衛 三十一日 管
成 威海衛 三十一日 管
兵 威海衛 三十一日 管
兵 威海衛 三十一日 管

0244

軍務局

香次 中ノ三吉

大伴 小石院考

寄員

教

左ノ口為 許アリタシ
中ニテ 芝果旅順へ寄

五
日



旅順へ寄

0245

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

Station..... Office No. <u>134</u> Received Time <u>7:40</u> / Date <u>30.5</u> ¹⁹ By <u>[Signature]</u>	Address <u>Hagoromo</u> <u>Tokio</u>
Class <u>S</u> Original Office <u>Beington</u> No. <u>15/03</u> Words <u>10</u> Date <u>30.5</u> ¹⁹ Time <u>1:35</u> ^p m	Remarks
<p style="text-align: center;"> Zaijainissuehin nitetifuriojan Kikonoken enkiaritashi aro </p>	

0246

軍令部長

東郷 大將

伊五

第一班

三

第三班

本林

副官

村松

三浦

參事官

發付

二十七年八月二十日起案

月日

大臣

次官

岡田

軍務局長

岡田

局長

岡田

松村

教育本部長

岡田

第二部長

岡田

部長

岡田

重案

明石(須磨)練習艦隊

母直

0247

海軍

三付 類

平港に帰港せしめらる

三十九年八月六日

次

呉港
佐々木
一
子
長
左

0248

軍務局長

電報

明名(海軍)に在りて古くは二階
に在りて大將に定むるに力あり
し。九年八月廿二日

大佐

氏

印

長官
長官

0249

供覽

三子九子
海軍教育本部
局長

明治二十七年
號

第三部長

海軍

ハニイロ

一明治廿九年海軍機關少尉候補生定期實験練習報告

吉部

一右全成績表

吉葉

一右三関之意思見書

吉葉

右提出矣也

明治二十九年八月四日

局員

明石艦長海軍大佐外務



人事局長

局長



海軍教育本部長坂本俊篤

海軍

0250

意見

本年三月廿四日海軍機關學校卒業生海軍機關少尉補生廿一名第一
 期実務練習ノ為ノ青森軍艦泊石ニ令月廿四日軍艦須磨ニ令乗セリ
 爾來各美補生、豫定航路ニヨリ巡航中海軍機關少尉補生実務練習規則
 元、海軍教育本部訓令準據ニ勉メテ西船ニ於ケル指導ノ方法ヲ整一シ
 及履実務練習ヲ重ニス、四月業、教授科目、其ノ全般ヲ竭シ豫定航
 路モ亦終末ニ近ツクテ以テ試験場ヲ函館ニ撰定シ七月廿四日、拂リ西艦
 美補生ノ會同シ極メテ公正ニ手段ニ據テ試験シ基準卷案ニヨリ探査シ各別紙
 ノ成績ヲ提出スルヲ得ルニ至リ

本成績ニ於テ海軍機關學校卒業順序ハ少ク変動セリ而シテ其変動ハ能ク學校
 教育ノ實務教育ニ對シテ各美補生ノ才力ヲ付度顯示ス
 要スルニ今回練習中各美補生ノ能ク余令ト服従シ關係ヲ辨シ且職分ヲ知テ重

大なり識認し又常々逸ラ喜ハカシテ奮身勞ミ意美風ノ涵養ハ其胚胎ニ
屬シ多ク學校教育ニ倚ルガレト雖モ然モ人心ヲ新ニ軌近曠古ノ大戦役ニ因
ルニキツ保ホカ而シテ本官ハ如斯純良ニ諸生練習ヲ任務ニ當リタルハ西船諸員
ト共ニ深ク名譽ト思考スル處トナリ
終リ本官候補生堀井貞正ガ第二種疝ニ依リ本則練習ヲ終結ス能ハルニ
至リテ深ク遺憾トス

明治廿九年八月四日

明石艦長

外波内藏



海軍教育本部長坂本俊馬殿

0252